

全国学力・学習状況調査 問題冊子等の配布希望学校数等内訳

	小・中全体			小学校			中学校		
	対象者 在籍学校数	配布希望 学校数	希望率 (%)	対象者 在籍学校数	配布希望 学校数	希望率 (%)	対象者 在籍学校数	配布希望 学校数	希望率 (%)
全国	32,023	24,404	76.2%	21,307	16,532	77.6%	10,716	7,872	73.5%
全国（公立）	31,051	24,066	77.5%	21,021	16,413	78.1%	10,030	7,653	76.3%
北海道	1,829	1,566	85.6%	1,172	1,007	85.9%	657	559	85.1%
青森県	503	355	70.6%	332	251	75.6%	171	104	60.8%
岩手県	561	446	79.5%	374	303	81.0%	187	143	76.5%
宮城県	655	537	82.0%	438	361	82.4%	217	176	81.1%
秋田県	374	374	100.0%	245	245	100.0%	129	129	100.0%
山形県	415	279	67.2%	301	212	70.4%	114	67	58.8%
福島県	721	689	95.6%	484	466	96.3%	237	223	94.1%
茨城県	800	772	96.5%	562	542	96.4%	238	230	96.6%
栃木県	565	337	59.6%	395	243	61.5%	170	94	55.3%
群馬県	509	294	57.8%	335	201	60.0%	174	93	53.4%
埼玉県	1,258	1,017	80.8%	824	663	80.5%	434	354	81.6%
千葉県	1,228	687	55.9%	838	474	56.6%	390	213	54.6%
東京都	1,963	1,462	74.5%	1,320	1,000	75.8%	643	462	71.9%
神奈川県	1,287	295	22.9%	865	185	21.4%	422	110	26.1%
新潟県	786	642	81.7%	535	442	82.6%	251	200	79.7%
富山県	285	274	96.1%	198	196	99.0%	87	78	89.7%
石川県	323	323	100.0%	226	226	100.0%	97	97	100.0%
福井県	283	283	100.0%	203	203	100.0%	80	80	100.0%
山梨県	277	265	95.7%	187	179	95.7%	90	86	95.6%
長野県	573	508	88.7%	382	343	89.8%	191	165	86.4%
岐阜県	572	375	65.6%	378	258	68.3%	194	117	60.3%
静岡県	795	396	49.8%	521	262	50.3%	274	134	48.9%
愛知県	1,414	267	18.9%	988	188	19.0%	426	79	18.5%
三重県	565	514	91.0%	396	364	91.9%	169	150	88.8%
滋賀県	336	238	70.8%	232	178	76.7%	104	60	57.7%
京都府	589	481	81.7%	414	342	82.6%	175	139	79.4%
大阪府	1,493	1,206	80.8%	1,019	819	80.4%	474	387	81.6%
兵庫県	1,149	848	73.8%	795	591	74.3%	354	257	72.6%
奈良県	314	161	51.3%	206	111	53.9%	108	50	46.3%
和歌山県	390	390	100.0%	262	262	100.0%	128	128	100.0%
鳥取県	205	93	45.4%	141	61	43.3%	64	32	50.0%
島根県	337	233	69.1%	232	165	71.1%	105	68	64.8%
岡山県	574	569	99.1%	408	404	99.0%	166	165	99.4%
広島県	768	768	100.0%	519	519	100.0%	249	249	100.0%
山口県	477	477	100.0%	315	315	100.0%	162	162	100.0%
徳島県	278	278	100.0%	193	193	100.0%	85	85	100.0%
香川県	250	247	98.8%	178	176	98.9%	72	71	98.6%
愛媛県	465	392	84.3%	326	287	88.0%	139	105	75.5%
高知県	330	330	100.0%	213	213	100.0%	117	117	100.0%
福岡県	1,112	1,112	100.0%	757	757	100.0%	355	355	100.0%
佐賀県	282	282	100.0%	179	179	100.0%	103	103	100.0%
長崎県	553	553	100.0%	370	370	100.0%	183	183	100.0%
熊本県	578	444	76.8%	399	307	76.9%	179	137	76.5%
大分県	435	435	100.0%	300	300	100.0%	135	135	100.0%
宮崎県	379	356	93.9%	242	228	94.2%	137	128	93.4%
鹿児島県	797	797	100.0%	557	557	100.0%	240	240	100.0%
沖縄県	419	419	100.0%	265	265	100.0%	154	154	100.0%
全国（国立）	174	112	64.4%	85	61	71.8%	89	51	57.3%
全国（私立）	798	226	28.3%	201	58	28.9%	597	168	28.1%

※9月1日時点（配布日まで学校数等の増減はありうる）

重点研究課題：PISA型「読解力」を高める国語授業

取組のポイント

- ◇学力の定着・向上のためのPDCAサイクルが確立されている
 - ・具体的で明確な計画の作成・共有
 - ・計画に基づいた学校全体としての組織的な取組の実施
 - ・客観的な学力調査の結果等に基づく取組の検証・改善
- ※県事業の実施（「学力調査活用事業」を平成19年度から継続実施）

1 取組の概要

計画 (Plan)

- ・「学校教育マニフェスト」の作成・共有
 - ※取組内容の具体化、目標の数値化
- ・PISA型「読解力」を育成するための指導計画の作成・共有

実践 (Do)

<学習指導>

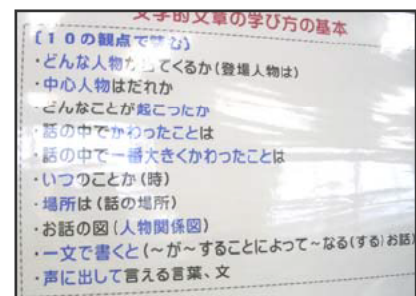
- ・PISA型「読解力」を育成する授業の実施
- ・習熟度別指導、TT指導の実施
 - ※人数の多いクラスの算数を2クラス編制で実施、他はTTで実施
- ・補充学習の実施
 - ※「ぐんぐんタイム」：国語・算数、毎日15分間（13:35～13:50）実施
 - ※「のびのび学習会」：毎月第1水曜日の5限目、長期休業期間に実施
- ・「文学教材の教材解釈集（学年別）」の作成・活用
- ・朝の読書の実施、県事業「生き生き読書リレー」の実施
- ・「学習規律シート」による子どもの学習状況の定期的な把握

<研修>

- ・PISA型「読解力」を育成する指導方法の研究の推進（大学から講師を招聘）
- ・Q-U調査を活用した学び合える学習集団づくりの研究の推進（大学から講師を招聘）

<家庭との連携>

- ・「家庭学習の手引き」の配付
- ・保護者対象の「家庭学習アンケート」の実施
- ・「学校だより」「学年だより」の発行



文学的文章の学び方の基本
(掲示物)

検証 (Check)

<到達度学力検査等の実施>

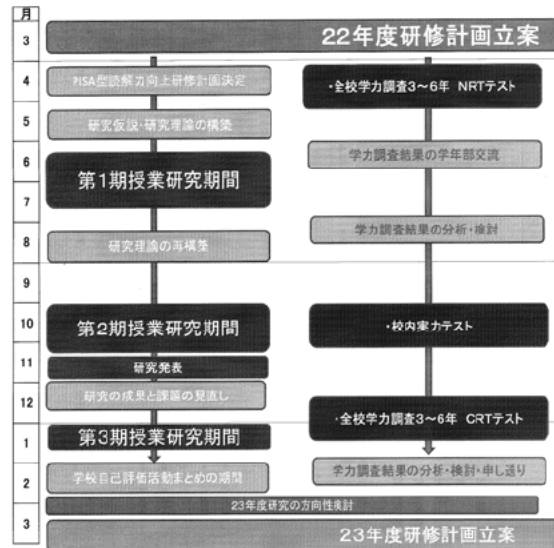
- ・3年生以上で実施（4月）NRT
- ・「読解力活用確認実力テスト」（学校独自で作成）による授業改善の成果の確認（10月）
- ・3年生以上で実施（1月）CRT
※全教職員による分析、保護者への結果報告

<Q-U調査の実施>

- ・全学年で年2回実施（5月と12月）
- ・子どもたちの学校満足度の向上をめざした学級経営の改善
- ・到達度学力検査の結果とのクロス集計による子どもの状況把握

<学校自己評価、学校関係者評価の実施>

- ・「学校教育マニフェスト」の目標の達成状況の確認、改善方策の検討



●●小学校 平成22年度研修計画の一部

改善 (Action)

- ・学習指導方法の改善
- ・学習集団づくりの改善
- ・研修内容の改善

2 取組の成果

- PISA型「読解力」の育成に向けた授業改善の学校全体としての取組の向上
- 到達度学力検査の結果の向上（下表参照）

【平成22年度 6年生の到達度学力検査結果の推移（全国平均値=100とした場合）】

国語					
	話す 聞く	書く	読む	言語 活動	国語 全体
4年時	96	88	85	95	91
5年時	103	117	98	105	106
6年	109	115	111	114	112

算数					
	数と 計算	量と 測定	図形	数量 関係	算数 全体
4年時	107	106	108	109	108
5年時	116	99	95	123	108
6年	111	116	121	123	118

- 毎日宿題をする子どもの割合の増加
（平成21年度：92.4% → 平成22年度：95.9%）
- 読書量の増加（図書室の本の貸出冊数の増加）
- 文章を正確に読み取る力を育成する指導方法の開発
（多様な音読、ワークシートの活用等）